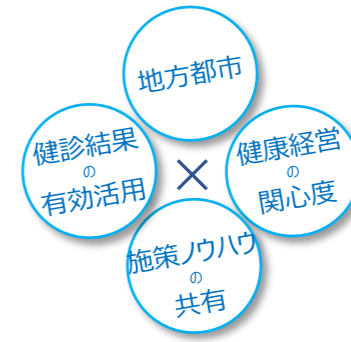


『岡山 健康経営を考える会』とは？

超高齢化が進む日本では、その生産性を維持する方法の一つとして「健康経営」の取り組みが、大企業を中心に注目されています。
一方で、日本の421万企業のうち99.7%は中小企業で構成されており、生産性維持、向上の観点からも中小企業の健康経営の実践が課題となっております。

岡山は健康経営の関心が高い！



岡山は経産省が推進する「健康経営優良認定制度」で認定される企業数が、地方としては最も多い県であり、健康経営の関心が高い県と言えます。

そこで、県内中小規模法人がこれまで以上に健康経営に関心を持ち、取り組みを促進、充実していくためにも、法人有志が連携して広く県内外の情報が、事例等の取得を進めることが重要と考えました。

『岡山健康経営を考える会』
本格的な活動を開始！

健康経営とは？
健康経営とは、従業員の健康増進を重視し、健康管理を経営課題として捉え、その実践を図ることで従業員の健康の維持・増進と会社の生産性向上を目指す経営手法のこと

健康経営優良法人認定制度とは？
地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。

岡山では466社が認定を受け、16社がプライト500を取得しており、その数も他県をはるかに上回っています。『岡山 健康経営を考える会』会員企業・団体では、24社が認定、4社がプライト500を取得されています。

それぞれの健康施策やノウハウを支援の無い範囲で共有し、重要と考えられる共通の課題については共同検討の機会を設けて、岡山の状況にマッチした施策開発、改善を目指すべく、今般『岡山健康経営を考える会』の設立に至ったものです。
このような取り組みは全国でも珍しく、先進的なものと考えられます。
『岡山健康経営を考える会』は企業と働く従業員の健康ならびに幸せを願い皆で学び、皆で実践することによって岡山の企業の発展と地方発の健康経営の在り方を全国に発信します。

会員企業37社 (2023年7月現在) 50音順 敬称略

新たに4社が加入されました！

- 服部興業株式会社
- 株式会社三幸工務店
- パナソニック吉備株式会社
- 株式会社丸五

- | | | | |
|-------------------|----------------|-------------|-----------------|
| 株式会社荒木組 | カジノン株式会社 | シーアール物流株式会社 | 備商株式会社 |
| オーエム機器株式会社 | 片山工業株式会社 | ★一般財団法人淳風会 | 備前化成株式会社 |
| オーエム産業株式会社 | 菅公学生服株式会社 | ★セリオ株式会社 | 藤クリーン株式会社 |
| 岡山ガス株式会社 | 関西プラスチック工業株式会社 | ダイヤ工業株式会社 | ★株式会社フジワラテクノアート |
| 一般社団法人岡山県商工会議所連合会 | 倉敷レーザー株式会社 | 株式会社竹本商事運輸 | 双葉車輛株式会社 |
| 株式会社岡山スポーツ会館 | ★株式会社コンケン | 株式会社タック | 水島運搬機株式会社 |
| 株式会社岡山高島屋 | 桜田工業株式会社 | にのみ清掃株式会社 | |
| 株式会社カートップ | 有限会社三協鋸螺 | ★株式会社ニッカリ | |
| カシスコミュニケーション株式会社 | 山陽環境開発株式会社 | ネットヨタ山陽株式会社 | ★発起法人 |

会員企業随時募集中！！

- ①法人・団体名 ②業種 ③従業員数 ④代表者・担当者 ⑤連絡先 ⑥加入健保
①～⑥を以下のアドレスまでご連絡ください

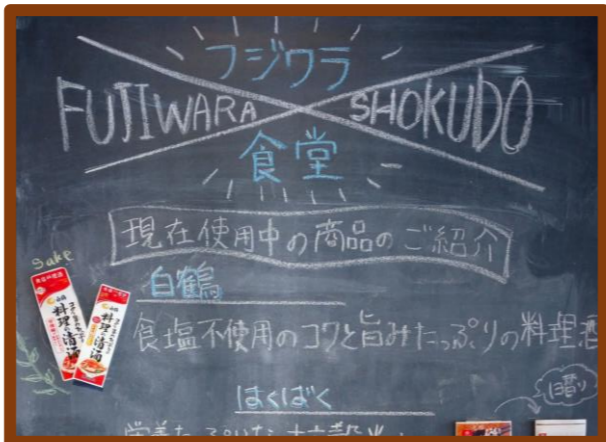
ok4@junpukai.or.jp

『岡山 健康経営を考える会』事務局：一般財団法人 淳風会
岡山市北区大供2-3-1 TEL：086-226-2666(代表)



フジワラテクノアート本社ビル前にて参加者集合写真 (5月25日撮影)

健康経営の取組みを
実際に見る



社員食堂「フジワラ食堂」の黒板。取引先の商品を使用し帰属意識の醸成を図るとともに、健康に配慮した食事を提供しています。

2023年2月10日(金)に、発足した『岡山健康経営を考える会』以下「考える会」がいよいよ本格的な活動を開始しました。
今回の夏号では、初めての活動となる、会員企業の皆様が実際に健康経営の事例を見て体験する「企業訪問」を振り返ります。
記念すべき第1回目の訪問先は「考える会」藤原会長の株式会社フジワラテクノアートです。訪問した会員企業の皆様からの感想なども紹介。
さらに「考える会」「健康経営」の認知度向上を目的としたメディア露出、そして次回の総会の案内を特集します。

「健康経営」はNPO法人健康経営研究会により商標登録されています

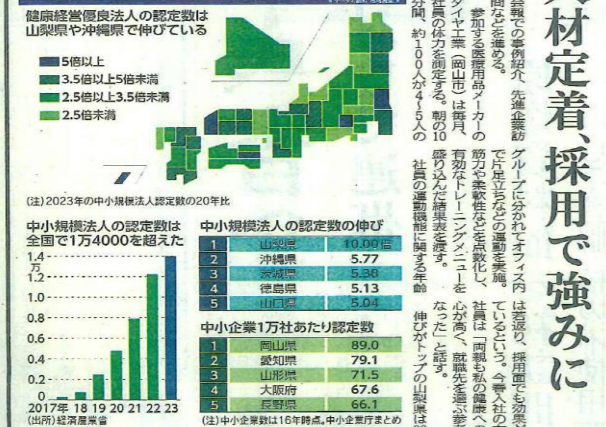
データで読む 地域再生

健康経営 岡山が先行

健康経営の推進は、従業員の健康と生産性を高めるだけでなく、企業の持続可能性を高めるための重要な取り組みです。岡山県は、健康経営の先進地として、全国的に注目されています。

岡山県は、健康経営の先進地として、全国的に注目されています。健康経営の推進は、従業員の健康と生産性を高めるだけでなく、企業の持続可能性を高めるための重要な取り組みです。

全国の認定中小法人、3年で2.9倍



健康経営優良法人の認定数は、山梨県や沖縄県で伸びている。岡山県は、健康経営の先進地として、全国的に注目されています。

健康経営優良法人の認定数は、山梨県や沖縄県で伸びている。岡山県は、健康経営の先進地として、全国的に注目されています。

©日本経済新聞 ©TSCテレビせとうち 無断複製・転載を禁じます

「考える会」と「ダイヤ工業」「タック」の事例が掲載

5月20日付日本経済新聞(全国版・中国版にて)

また、5月20日の日本経済新聞全国版と岡山版にて、岡山が全国と比較して健康経営の取組みが先行しているといった内容の記事が掲載。その一つとして考える会や会員企業のダイヤ工業株式会社、株式会社タックの取組み事例が紹介されました。記事の中では、**中小企業の1万社あたりの「健康経営優良法人認定数」が岡山県が最多で、経産省の認定制度が生まれる前より健康経営への関心が高い県と紹介がされています。**健康経営が従業員への健康づくりだけでなく、人材定着や採用活動へも影響することはデータからもわかることから、考える会の活動の活性化が期待されます。

©日本経済新聞 ©TSCテレビせとうち 無断複製・転載を禁じます



企業訪問を開催しました

記念すべき第1回の企業訪問は、「株式会社フジワラテクノアート」です。当日は20社がフジワラテクノアートを訪れ、藤原加奈副社長による引率のもと同社の健康経営の取り組みを紹介いただきました。

フジワラテクノアートの健康経営は、2018年より取り組み開始、2050年をゴールとした会社のビジョン実現のための基盤強化活動として組み込まれており、会社の目線と従業員との共感を中心軸に据えて実施されています。

定期的なアンケート調査と年1回のストレスチェック評価を通じて従業員の声を収集、課題を抽出することで、強みや課題をフィードバック、それを基に施策を構築、実施することを重要視されています。このような循環が、健康経営を推進する上で欠かせない要素と紹介いただきました。

また、参加者からの継続のためのポイントに関する質問には「従業員のモチベーションを最優先に考えている」とされ、エンゲージメントの向上や企業ビジョンの伝達に注力し、リーダー

▶参加者アンケート結果 (一部抜粋)◀

Q1:企業訪問をしてみたいか？

- 健康経営への取組みや考え、課題など知ることができ刺激を受けた。
- 同じような課題をお持ちで安心した、一緒に解決策を考えていきたい。

Q2:参考になった点や、自社で取り入れたいポイント等ありましたか？

- 健康経営に関わる一人あたりの金額も参考になりました。
- 小さい会社だと実現できないこともあったため、工夫が必要と感じた。
- 次の訪問企業様のハードルが上がったのは間違い無いと思います(笑)

株式会社フジワラテクノアート 藤原加奈副社長より

5月の事業所訪問に際し、多くの会員の皆様にご来社いただきまして心より感謝申し上げます。当社の健康経営への取り組みをご理解いただくこと、皆様からのご意見やご質問をお伺いすることで、新たな視点や気づきを得ることができました。このような情報交換の場を持つことは、大変有益な時間であったと感じております。皆様との対話の中で、各社様が様々な課題を抱えられていることを知り、解決に向けて取り組んでおりますが、これらの課題に対して一時的な対応にとどまらないよう留意してまいります。

健康経営はあくまでも手段であり、会社の未来を考え抜いた先にあるビジョンを実現・達成することが、真の目的だと認識しております。今後も真摯に経営課題に向き合いながら、会員の皆様と共に健康経営の推進に注力してまいります。



次回総会のご案内

9月の総会では、川上憲人先生を特別講師として招き、メンタルヘルスと職場環境改善に関するセミナーを開催する予定です。

このテーマは、皆様のアンケートの結果で最も関心の高いテーマの一つであったため選定いたしました。

川上先生はその専門知識と経験を活かして、健康経営におけるメンタルヘルスの重要性について解説していただきます。メンタルヘルスは近年、健康経営の中で重要なテーマとなっており、従業員のウェルビーイングを

次回総会は9月

講演会のテーマはメンタルヘルス

向上させることは、生産性の向上や組織の持続的な発展につながると言われています。特に最近では、メンタルヘルス対策のための職場環境改善が重要な視点として注目されています。ストレスチェック(80項目)では、職場のストレス要因による心身の健康へのネガティブな影響のみならず、仕事の働きがいや上司や同僚のサポート、経営層との信頼関係のような「仕事の資源」によって、従業員のワーク・エンゲイジメントや職場の一体感へのポジティブな影響が評価されます。本セミナーでは、ストレスチェックを活用した職場活性化の考え方や具体的な事例を紹介し、従業員が生き生きと働きやすい職場環境づくりのヒントをお伝え致します。

健康経営度調査においても、メンタルヘルスや職場環境の改善は重要な要素となります。今セミナーを通じて得た知識やアイデアを活用しながら、参加企業の皆様と共に取り組んでまいります。総会・講演会にご参加いただき、有意義な情報交換の場となることを心から願っています。

なお、講演会は非会員企業の参加も可能です。